



浅香 健一さん

森ノ宮医療学園専門学校・鍼灸学科
第33期アドバンスコース
一心 院長 鍼灸師・スポーツトレーナー

● プロを断念しサポートする側へ

小学校から社会人まで野球を続け、19歳で念願のプロ野球球団にスカウトされた1週間後の練習中、回旋腱板を損傷し、日常生活さえ不可能な状態になり、もちろんスカウトの話も無くなりました。複数の病院でこの状態では手術以外に方法はないと診断されたのを、治療院で保存治療によって治していただいたのがきっかけで、現役引退後、医療の世界に入ろうと決心しました。鍼灸学科を選んだ理由は、ドクター以外で、身体の内部にアプローチできるからです。

● 片道2時間半、3年間通学

専門学校では自動車通学が認められていませんでしたので、3年間、自宅の兵庫県丹波市から片道2時間半電車で通学しました。大変でしたが、学校生活も鍼灸の勉強も楽しく、充実して過ごせ、今の自分があるのは森ノ宮のお陰です。鍼灸は本当に奥が深く、学校以外でも古代九鍼、日本刺絡学会の講習会を受講し、認定証も取得しました。

専門学校で同級生だった妻と平成20年に、患者様と治療者の、治りたい治したい気持ちが一つになるとの思いを込めて治療院『一心』を開業しました。妻は現在、子育て中心ですが、鍼灸とベビーマッサージセラピストとして治療もさせていただいています。

一心

住所 〒679-0322 兵庫県西脇市黒田庄町石原1088-1
電話 0795-28-4818

● 師匠の下で経験を積む

日常生活さえ不可能な状態を経験した事から、選手たちには絶対自分と同じ様な道を行って欲しくありません。ですので選手には最高のサポートをしたいと日々強く思っています。例えば、伸張反射を使った動作RSSC(ローター・ストレッチ・ショートニング・サイクル)やower Position(最適な準備姿勢)、Scapular Plane(肩甲骨面)等の習得を指導するだけでも、怪我の確率が軽減でき、更にはスポーツ能力も向上します。スポーツトレーナーの役割は重要で、メディカル・ストレングス・スポーツドクターとの交流、チームサプリメントの紹介や他の機関との情報交換など仕事内容は多種多様です。僕は幸運にも素晴らしい師匠に出会い、その方の下で経験を積むことができましたが、スポーツトレーナーも鍼灸での臨床と同様に師匠の下、経験を積む事が重要です。



後輩の専門学校鍼灸学科3年生の松本嬉与さん(中央)も2時間半かけて森ノ宮に通学しながら、地元では浅香トレーナーのもとで勉強中

● 鍼灸で選手のコンディション調整

現在、私のスポーツ現場は野球とサッカーですが、鍼灸は内臓調整に使い、また即効性もありますので、状況に応じた痛みのコントロールにも使用しています。アスリートで鍼灸を受けた経験がなくても、信頼関係を構築する事から始めると、鍼灸治療を受けてくれるようになります。現在では、職業“スポーツトレーナー”として生活できるのはごく少数です。チームに必要とされるプロの鍼灸トレーナーを育成する事が未来のアスリートにも最高のサポートをする事になると信じています。



Jリーグでの活躍も期待される市井君



兵庫県立社高等学校サッカー部の選手たちと